

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	有限会社 小林バレエ事務所
公演団体名	小林紀子バレエ・シアター

内容
<p><通常時のワークショップのプログラム></p> <p>▶本公演では生徒さんに◆「アタック to バレエ」、◆「コート・ダンス・パレード」の2作品に出演していただきます。</p> <p>ワークショップでは上記本公演演目についての指導と練習を中心に、鑑賞のポイントもわかりやすく解説いたします。男女共通の練習メニューのほか、男子用のメニュー、女子用のメニューと時間を区切ってスムーズに行います。(ホワイトボードとポータブルマイクをお借りできると助かります。)</p> <p>▶一緒に身体を動かしながら進めるワークショップ</p> <p>指導側の話を一方的に聞くスタイルでなく、“一緒に身体を動かしながら”のスタイルでワークショップを行います。1つの学年の生徒さんだけに指導するのではなく、できるだけ多くの生徒さんと行えるようにしたいと考えております。(過去には全学年の生徒さんにワークショップを行った実績もあります。)また、学校の行事や学校のカリキュラムに合わせて実施いたしますのでご要望をご相談ください。</p> <p>▶ワークショップ映像を公演時に放映!</p> <p>ワークショップの時間は、基本的に授業時間2コマを使用しますが調整可能です。またワークショップにおいて生徒さん達が真剣に指導を受け、練習している様子をスタッフがビデオカメラで撮影し、公演時に生徒さんの貴重な体験記録としてそのダイジェスト版を、スクリーン(持ち込み)を使って放映します。ワークショップに参加できなかった学年の児童生徒も様子をお伝えします。</p>

タイムスケジュール (標準)
ワークショップ(90分間)当日のスケジュール(下記は午後開催の場合の時間目安)
12 13 14 15 16 (時)
←準備・セッティング→← ワークショップ →← 片付け・打合せ →← 撤収→
※学校到着後、ワークショップ開始1時間前から体育館でワークショップのためのセッティングおよび指導者のウォーミングアップ等を行わせていただきます。ワークショップではピアノ、マイク、ホワイトボード等を借用させていただきます。準備から撤収までの所要時間の目安は約3時間半～4時間です。

派遣者数
指導者(6名) スタッフ(2名) 計8名

学校における事前指導
学校の先生・生徒さんに出演していただく公演演目「アタック to バレエ」、「コート・ダンス・パレード」において必要な、舞台メイク、髪型等の解説のほか、バレエダンサーのレッスン内容についての説明・指導・練習を行います。
またワークショップにおいて生徒さんたちが真剣に指導を受け、練習している様子をカメラで撮影し、公演時に生徒さんの貴重な体験の記録としてそのダイジェスト版を、スクリーンを使って放映します。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業一巡回公演事業一

本公演実施計画書

制作団体名	有限会社 小林バレエ事務所
公演団体名	小林紀子バレエ・シアター

演目
<p style="text-align: center;">演目①『Movement Caprice』 振付・演出：小林紀子 作曲：ルイ・ゴッドシャルク（米国）</p> <p style="text-align: center;">演目②『アタック to バレエ』“バレエダンサーに挑戦” ★生徒共演作品 演出・脚本：小林紀子 作曲：スコット・ジョプリン（米国）他</p> <p style="text-align: center;">演目③『コート・ダンス・パレード』“バレエ作品を体験” ★生徒共演作品 演出・脚本：小林紀子 作曲：アドルフ・アダン（仏国）</p> <p style="text-align: center;">メイン演目④『ソリテイル』 振付：ケネス・マクミラン（英国） 作曲：マルコム・アーノルド（英国） 初演：1956年6月7日 サドラーズ・ウェルズ・バレエ団（英国）</p>

派遣者数
出演者（25名）スタッフ（26名） 合計51名

タイムスケジュール（標準）										
8	9	10	11	12	13	14	15	16	17（時）	
←	会場設営		→ ←	リハーサル等		→ ←	本番	→ ←	撤去	→
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。 11:00～60分程度ワークショップで練習した児童生徒共演の演目部分の最終リハーサルを行います。										

実施校への協力依頼人員
（小学校の場合） 出演者として→【教師2名、児童小学3年生～6年生まで34名】 （中学校の場合） 出演者として→【教師2名、中学1年生～3年生まで34名】

演目解説

バレエにはセリフがありません。どのように物語や気持ちを伝えるのでしょうか。

“バレエ”は発想力を育て、様々な感性や視点で観ていただける総合舞台芸術です。

世界中の人々、男の人、女の人、大人、子供、みんなに長いあいだ愛され続けている“バレエ”。

4つの作品を通してその魅力を余すところなくご紹介します！

▶演目①「Movement Caprice (ムーヴメント・カプリース)」— 初めて観るバレエの動き！

みどころ：鼓動のようなリズムの音楽が響き、少しずつ明かりが入ってダンサーのシルエットが浮かび上がります。一気に明かりがつくと、バレエダンサーたちが目の前に！初めてバレエを目にする生徒さんへ新鮮な驚きと感動を与えます。

ソロや群舞、美しくダイナミックな踊りが続き、フィナーレはダンサー全員が舞台上に登場し、大きなリフトや軽快な回転など目まぐるしく躍動します。

バラエティーに富んだ曲想が引き出すさまざまな情景に、クラシックバレエの醍醐味のひとつである多様なテクニックがちりばめられた作品です。オープニングから爽快感たっぷりのフィナーレまで、あますところなく堪能することができます。

▶演目②「アタック to バレエ」★生徒共演作品

— ダンサーのトレーニングの様子～みんなもバレエに挑戦！

みどころ：身体を使って音楽やドラマを表現することを職業とするバレエダンサー。かれらの毎日のレッスンの様子を、わかりやすく解説付きで披露します。バーと呼ばれる横木に手を乗せて行う動き、バーを離れて小さいジャンプから大きいジャンプそして回転まで、どのようにしてダンサーがトレーニングを行っているかをご覧ください。そして「体験コーナー」では生徒さんにも、舞台上で照明を浴びながらピアノの演奏に乗って、ワークショップで事前に一緒に練習したバレエの基本ステップに挑戦していただきます。

挑戦していただく皆さんには、
テレビCMなどで耳馴染みのある
チャイコフスキーの音楽で楽しく踊
っていただきます。



ワークショップで練習した内容を、ダンサーの手本と一緒に踊ります。

生徒さんが心配の無いよう、バレエダンサーが丁寧にサポートするので安心です。

▶演目③「コート・ダンス・パレード」★生徒共演作品

— 役柄を表す衣裳とは？セリフがなくても何を話しているか分かる！

あらすじ：時は400年前、葡萄畑が広がる村で、村人たちがぶどう狩りに出かけるようです。村人たちは薄い生地の洋服を着て、軽やかに通り過ぎていきます。そこへ、貴族の一行が通りかかります。貴族はいかにも権威を示すような、女性は10～15キロある洋服、男性は20～30キロもある重い織物で作られた洋服を着て、一歩一歩ゆっくりと優雅に歩いています。村人たちは貴族に深く頭を下げ、短い踊りで歓迎します。

そこへいたずらな妖精がスキップをしながら現れます。妖精たちは時が止まっている間に、村人のかごから葡萄、男性の貴族の帽子、女性の貴族の手袋などを持って行ってしまったようです。さあどうなるのでしょうか。

みどころ：セリフがないバレエでは、「マイム」と呼ばれる動きで言葉を表すことがあります。



「あなたのお洋服、とっても素敵ですね！」という意味のマイムや、「喉が渇きました。何か飲むものはありますか？」という意味のマイムなどが出てきます。とても自然な動きなので、初めて見る人でもどんな意味だか分かりやすいですよ。

「コート・ダンス・パレード」では、妖精役を学校の生徒さんに演じていただきます。

生徒さんには妖精の衣裳を着て、バレエシニヨン（おだんご）を結って白い花輪の頭飾りを付け、シンプルな舞台メイクを体験していただきます。生徒さんに踊っていただくステップは、ワークショップでしっかりと練習しますので心配りません。



▶演目④「ソリテイル」— 周りの人たちとのかかわり、自分という存在について・・・

あらすじ：中心となる少女は、彼女を取り巻く世界に上手く馴染むことができません。

彼女が頬杖をついて宙を見上げると、目の前にたくさんの友達が現れます。友達は、ときに楽しそうに少女に駆け寄り、彼女を驚かせたり、ときに彼女の気持ちに寄り添い、包み込みます。少女や友達がどんなお話しをしているのか、少女がどんなことを考えているのか想像しながら見てみましょう。

きっと、少女やそのお友達の話し声が聞こえてきますよ・・・

みどころ：少女の前に現れては消える個性豊かな登場人物たち。様々な友達との関りの中で少女

が抱く憧れや、希望、憂いを、穏やかでユーモラスに、かつ切なく描いているバレエです。少女の気持ちの揺れる様子が、見ている者の胸に響きます。

この作品は、“児童、生徒の芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養う”という目的のため、英国の振付家著作権団体から特別に

上演許可を得ています。セリフを使わない芸術だからこそ、心の奥に響くものがあります。ひとりひとりの児童生徒が、それぞれの視点で観て感じてもらいたいバレエ作品です。



＜『ソリテイル』振付：ケネス・マクミラン Kenneth MacMillan＞（1929－1992）

マクミランは、スコットランド生まれ。1946年、新設されたサドラーズ・ウェルズ・シアター・バレエ（のちの英国ロイヤル・バレエ団）にダンサーとして入団。いくつかの小品を作った後、振付家としての将来性が認められ『ダンセズ・コンセルタンテス』（1955）を振付。かのアーノルド・ハスケルをして“マクミランは疑う余地もなく、天才的な振付の才能を持ち、また類まれなる種類の振付家である”と言わしめた。1983年、マクミランの英国バレエ界への多大な貢献に対して Knight（ナイト）の称号が与えられ、心臓発作によってこの世を去った翌年の1993年には、彼の生涯にわたる業績が称えられ、オリヴィエ特別賞が贈られた。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

▶どこの席もS席！臨場感たっぷりの客席設計。

一步体育館に足を踏み入れると、すっかり劇場に姿を変えています！

舞台を囲むように客席が配置された円形劇場をイメージした舞台では、どこの席もS席！と感じていただけるように工夫されていますので、どの位置から見てもダンサーの演技を間近で見ることができます。それぞれの角度からダンサーの色々な表情が良く見えます。これは、小さなお子様でも舞台に注目し、バレエの世界に浸ることができるための工夫です。

開演が近づくと、体育館は、まるで本当の劇場のように暗くなり期待感が高まります。本番スタート後はダンサーたちが次々と登場し、ライトが当たる舞台から目が離せなくなるでしょう。

▶発見の連続！たくさん発見することが、学ぶ楽しさや発想力につながります！

ダンサーの動きはもちろん、ピアノの演奏や音楽、美しくデザインされた衣裳やジュエリー、刻々と変

化する照明など、そのすべての要素が素晴らしい舞台に欠かせないものなのです。バレエを体育館で見ることだけでも、とても新鮮なことですが、本公演ではぜひ舞台のあらゆるところに目を移してみてください。随所に新たな発見がたくさんあること間違いなしです。

▶磨きあげられたダンサーの躍動。

バレエの大きな特徴のひとつに、セリフなどを用いずに、ダンサーの動きのみで作品の世界観を表現するということがあげられると思います。舞台上で躍動するバレエダンサーの身体を通して、音楽のイメージ、作品のテーマ、男女の感情、またストーリーが語られていくのです。だからこそバレエダンサーは、たえず自分の技術や表現力を磨き、全身を使って多くのことが表現できるよう訓練をしています。

▶世界中の人々、男の人、女の人、大人、子供、みんなに長いあいだ愛され続けている“バレエ”。

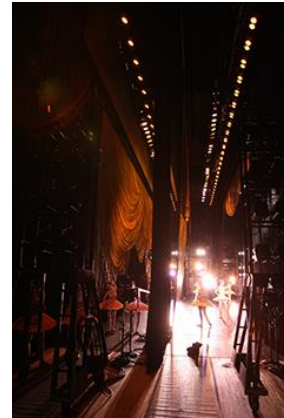
4つの作品を通してその魅力を余すことなく紹介します！

バレエには様々な要素があります。特徴ある美しい動きや衣裳はその代表ですが、他にも音楽や照明、舞台装置など様々な要素から成り立つため、『総合芸術』と呼ばれています。

そして私たち小林紀子バレエ・シアターが得意とするのは、英国の振付家による『心理』や『ある人物の生き様』などを表したストーリーバレエです。

1つの作品の長さが20分くらいの4つの作品から構成されているプログラムですので、最後まで集中してみることができます。

バレエは『美しさ』や『ファンタジー』にとどまらず、とても雄弁な舞台芸術です。今回、児童生徒の皆さんも身近に感じることができる感情を主題に取り上げた『ソリテイル』をご覧ください、是非バレエで語られる物語を楽しんでいただきたいと思います。



▶バレエ作品『ソリテイル』の解釈は人それぞれです。私たちは、作品をどのように見てほしいという事はありません。見終わったときに、なんだかわからない優しい気持ちになっているかもしれません。見たことがないものを見て、目がキラキラしているかもしれません。涙があふれてくるかもしれません。いつもは話しかけられない友達に明日話してみようと思うかもしれません。周りの友達に優しくしたいと思うかもしれません。安心するかもしれません。それとも、もっと違う気持ちになっているかもしれません。言葉では上手く言い表せない気持ちかもしれません。

是非その気持ちを生徒さんたちが心にとどめて、芸術に触れるということの喜びを知っていただけたら私たちにとってこの上ない喜びです。

児童生徒とのふれあい

生徒さんは◆「アタック to バレエ」、◆「コート・ダンス・パレード」に共演します。

バレエダンサーと直接ふれあい、バレエダンサーのように準備をし、また実際に生徒さんひとりひとりが円形劇場をイメージした舞台や、本格的な照明のライトのなかで表現するということを通して、普段の授業ではなかなか経験することのできない非日常を体験します。

※事前のワークショップ時にも、くわしく内容についてご説明、練習等いたします。

(円滑な事業実施のため、ご不安な点があれば、ご相談ください)

